

毎月第三日曜日

認知症の予防・相談・情報交換ができるカフェ オレンジカフェ静岡

10/20 2時～4時

コーヒー・紅茶
ハーブティ
お菓子
各100円

今日のお話

元気なうちに、大事なことは伝え、話し合っておきましょう

山崎秀和さん NPO法人助け合いネット静岡 副理事長



山崎秀和さん

NPO法人助け合いネット静岡では、市民相談事業、就労支援事業、産業遺産を次代に引き継ぐ市民活動事業の3つを中心に活動しています。相談事業では、医療・介護・相続・葬儀に関する高齢者からの相談が多く、エンディングノートを作成するきっかけにもなりました。エンディングノートに書いてありますが、配偶者・子供がいなく、法定相続人がいない例や子供がいなく、兄弟に相続権が発生する例、妻とは事実婚で相続権がない例、親より先に子

供が亡くなった例、子供たちに相当の生前贈与がされている例、障害のある子供に財産を多く残したいとの希望がある例など、遺言書があれば解決する事例が多くありました。

特に医療機関から認知症と診断されてから作成した遺言書は無効となります。成年後見人制度は大変複雑で、何をやるにも家庭裁判所を利用しなければならいため、私はあまりお勧めしていません。ミニ講話ではこうした事例を参考に、元気なうちに大事なことを伝え、話し合っておくことや、遺言書の作成の大切さについてお話します。

山崎さんプロフィール

1949年生まれ。1972年から税務相談中心の業務に携わり、定年退職後、市民相談のNPO設立に係る。相談者と一緒に考え、よりよい方針を決めていく姿勢を貫いております。

恒例の

上藤美紀代による

声のワークショップ



今月は上藤美紀代に代わり、望月已知代さんによる声のトレーニングを行います。

望月已知代さんは、今年の5月以来、3回目のトレーニングを行ってくださいます。愛らしく可愛いお声で、力強く楽しくリードしてくださいます。ご期待ください。

合唱

今月も望月保夫さんの指揮とアコーディオンで歌いましょう。

- ・赤とんぼ
- ・もみじ
- ・狸ばやし（しょじよ寺）
- ・月の沙漠

認知症の人たちの理解と支援は？

丹野智文さんの講演を聞いて

九月二十六日に、グランシップで、静岡市の認知症フォーラムが開かれ、認知症の丹野智文さんの講演を聞きました。また終了後に、認知症の方々や丹野さんとの話し合いに参加させていただきました。丹野さんは、仙台にあるネットヨタの営業職で働いていた39歳の時、お客の顔を忘れるなどして叱られ、入院検査でアルツハイマーと診断されました。認知症について調べ、絶望したそうです。けれど子どもたちのために働かなければと、洗車や清掃の仕事をしたいと社長に伝え、会社の理解を得て総務部に移り、

仲間に助けってもらいながら出来る仕事をしてきました。それから約5年、今は認知症の人たちを勇気づけ、周りの人にサポートの仕方を理解してもらう活動が中心になり、会社は専属のスポーツ選手と同じような扱いにしてくれているそうです。認知症になっても「できることは自分でやろう」「周囲は本人にできることをまかせ、できないことを一緒にやる」「認知症をオープンにしたら出会いが広がった」「諦めず、希望をもって」というメッセージを伝え続けています。認知症になってもできることはたくさんあります。丹野さんは今回の講演にも仙台から一人であられ、迷った時のために、「僕はアルツハイマーです」という名刺を持参されていました。（店長記）

今月の相談担当者

今月は伝馬町横内地域包括支援センターから、所朋子さん（主任ケアマネ・介護福祉士）がいらして相談にのってくださいます。

予告 十一月のミニ講話

最期まで自分らしい人生を生きぬく
死を背景にしてこそ

生の意味はあざやかになる

遠藤博之先生 たんぽぽ診療所

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo

会場提供

社会福祉法人 静和会

主催 NPO 法人

ヒューマン・ケア支援機構

TEL : 090-5620-6070

HP : <http://npo-humancare.jp>

※駐車場有ります



バスでお越しの場合、静岡駅北口から、5、6番のすべてのバスで、横内町静岡学園前下車。徒歩5分。バス停に案内人がいます。